

市報に再議を知らせていたはずだ

あきれた議会叩き！ 市長は、再議を知っていたはずだ。

柏原市議の報酬が上がら、その事実が5月号の市報に掲載された。市長は報酬アップを「止められなかった」記載されていたが、市長は、議員提案については止めることはできないが、再議申し立てはできるのだ。法に精通した市長なら再議を諮るべきではなかったのか疑問に思う。

副市長人事案件、否決にたいして、すぐに申し立て、再議を諮ったのに、何故、今回は？



柏原市HPより

日以内に申し立てし、もう一度議論しなおすことができる」と決められている。今回は、市長が不服申し立てをしなかった。申し立てをしない、と言うことは「黙認」したことであり同意である。

一方的に、広報かしわらの5月号2ページに「条例案は市長・議員とも提案権があり、議員提案について、市長が止めることは法律上できません」と、わざわざ水色の枠までつけて、記載されていた。提案を止めることはできないが、地方自治法176条には「議会の決めたことに不服があれば、市長は、10

広報を私物化して自分を正当化？ 議会も反論を！

都合の悪いことは「広報かしわら」に掲載し、それもいつもトップ扱い、市民に訴え、扇動する。反論できない相手方は、悪者にされる。議会に対しては、問題もいろいろある。市長が、公選挙法に違反して市民に7年間も出

5月、岡本市長、市立柏原病院に再々度入院。 外部に「口外するな」!

5月16日、岡本市長が市立柏原病院に入院した。当初、副市長から議会事務局に「口外するな」という指示が出されたが、漏れ聞いた議員から抗議されたため、真実が明るみになった。19日のイベントでは副市長が挨拶した

「柏原新聞に問う」なぜ市長の危機管理を問わない？
議員の「危機管理」と、長期にわたり職務を全うできない市長の「危機管理」対しての考えを聞きたい。風邪

分自身の事ではない。市長の年賀はがきは、本人自ら行った公選挙法違反第147条の2「あいさつの禁止」であるのかかわらず、議会は、貝のように口を閉ざしている。市長と議員が仲良しグループではよい市政ができない。今回の市長の姑息なやり方に議員・市民も怒りを覚えている人もいると思う。議員は、是は是非は認め、財政難の柏原市の活性化を図るためにも今後考えるべきである。

聞く。この事は、嘘である。市長は入院中であつたはずである。「何故」嘘つくのか疑問に思う。全てをオープンにするのが行政ではないのだろうか。政治家にとって健康

等軽い症状や短期的な病氣・怪我なら理解もできるが、市長は、平成22年1月から、今まで通算50日以上は登

柏原市パーソナルサポートセンター開設

柏原市は八尾市との合同事業として、柏原市産業会館の2階に「パーソナルサポートセンター」を開設した。ニート、引きこもり、障がいのある方へ継続に相談を受け、支援を行う。悩み苦しんでいる人が一人でも自立、就労できるようサポートしていく。

引きこもりやニートを継続的に支援 困っている人に呼びかけを!

☆パーソナルサポートセンター
柏原市大正2-10-1 柏原市産業会館(K.Iホール内)2階
電話 072-983-5015
開館時間 月～金曜日 午前9時から午後5時まで
(年末年始除く)
※毎週木曜日は
堅下合同会館2階(相談室)、国分図書館4階会議室で
午後と夜間に開催予定

〈講座案内〉	「不登校」「引きこもり」予防を考える子育て講座 場所 柏原市アゼリア5階(JR柏原駅前) 対象 子育て中の保護者 会期 6月～11月の第一日曜日 10:00～11:30
〈内容〉	1.子どものつまずきを考える 6月3日(日) 2.子どもの特性・親の特性を考える 7月1日(日) 3.子どもの有能感・達成感を考える 9月2日(日) 4.子どもの挫折感・ハングリーを考える 10月7日(日) 5.社会人としての生きる力を考える 11月4日(日)
	講座受講後、個別相談を受けることが可能 個別相談 6月～11月の第一日曜日 13:00～16:00 対象者 講座受講者

孔子の教え

得しますよ。「利に放(よ)りて行えば、怨み多し」。自分の利益ばかりを追い求めて物事を進めると、いつかは怨みがかうことになる。相手を思いやりようよ。全くその通り、「自分が、自分が」ばかりで、金の亡者になっている人、回りにいませんか？
市民を代表する人間は、そんなことであってはいけない。市民全体のことを考えて、みんなが潤うように社会をつくるのが議員の仕事です。議員報酬アップの件ではこれを止められなかった私の、力の足りなさを実感しています。反省しながら、改革を進めていきたいと思っています。



チェンジ

はまうら佳子の 元気が出るコラム

紀元前500年前の思想家・孔子の教えが記されているのが「論語」です。2500年たった現代でも読み継がれているって、すごいことですよ。私、時々読み返しているのですが、やっぱり、ええこと書いてますわ。
みなさんがよくご存じのところをいうと、「巧言令色、鮮(すく)なし仁」。口先でお世辞ばかり言う人、愛想ばかりする人のほとんどは、優しさや思いやりを持っていないものである、という意味ですよ。いますよね、人の顔色ばかりうかがっている人、腰巾着(こしぎんちゃく)という人。自分の意見を持っていないんですよね。
あと、これなんかも納